

琉球大学学術リポジトリ

南洋廳サイパン公學校『學校經營便覧』

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38053

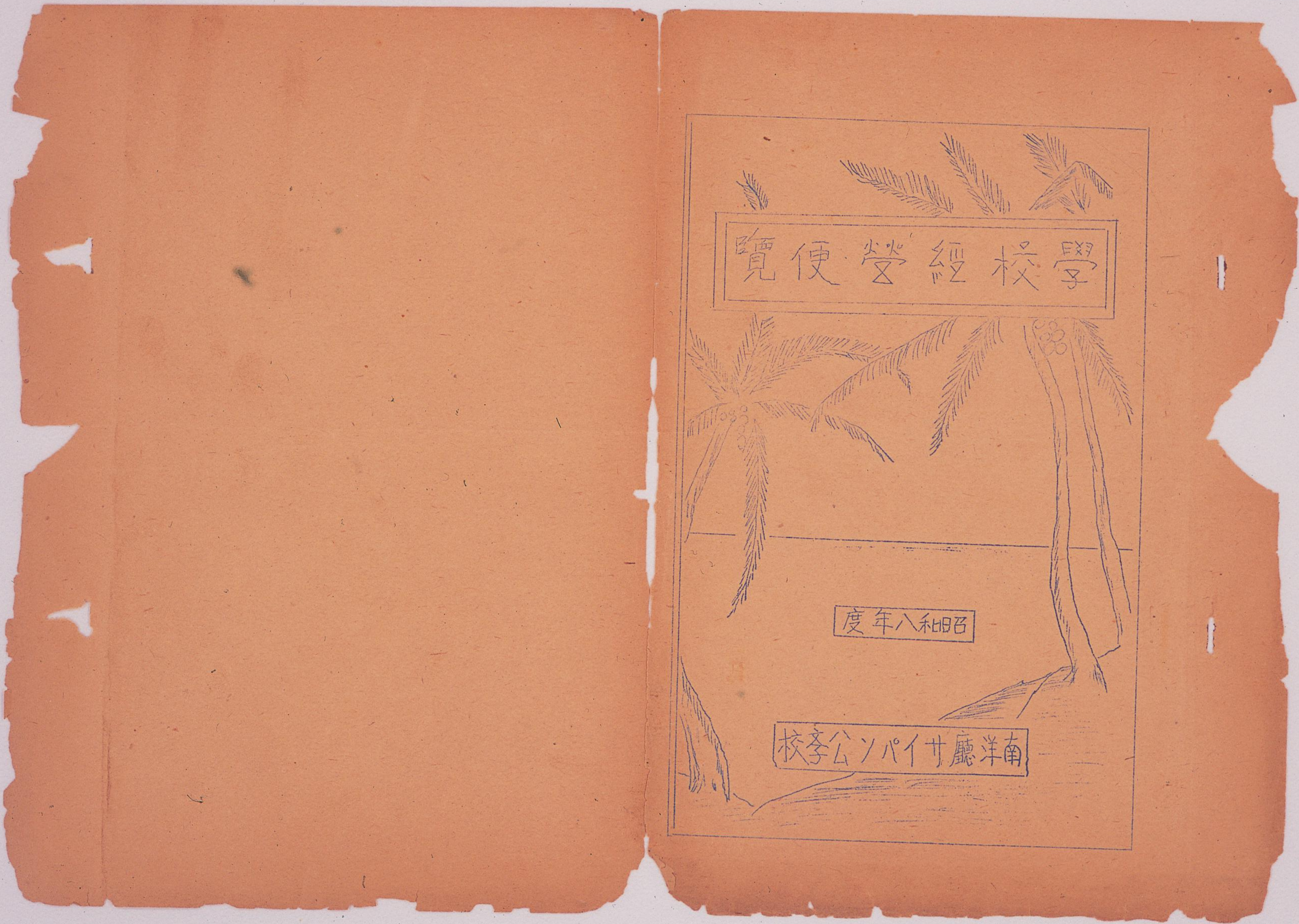
矢内原忠雄文庫

史料名	南洋廳サイパン公學校『學校經營便覧』昭和八年度
封筒番号	123
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 9 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号： 123

史料名	南洋廳サイパン公學校『學校經營便覧』昭和八年度
資料形態	ガリ／ホチキス留め
枚数	10
頁数	20
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 矢内原書き込みあり 今泉分類記号： N



學 校 經 營 便 覽

昭 和 八 年 度

南 洋 廳 甘 蜜 公 司 學 校

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1/12



昭和八年
（昭和八年）
（昭和八年）

年度	昭和八年		昭和七年		昭和六年		昭和五年		昭和四年		昭和三年		昭和二年		昭和元年		性 別	就 學 步 合	在 學 生 數	前 年 度 上 比 較
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
大正十一年	51	60	51	60	51	60	51	60	51	60	51	60	51	60	51	60	男	560	51	增
十二年	60	70	60	70	60	70	60	70	60	70	60	70	60	70	60	70	男	670	60	增
十三年	58	68	58	68	58	68	58	68	58	68	58	68	58	68	58	68	男	630	58	減
十一年	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	男	740	64	增
十一年	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	女	740	64	增
昭和二年	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	男	740	64	增
昭和二年	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	女	740	64	增
昭和元年	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	男	740	64	增
昭和元年	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	64	74	女	740	64	增
昭和八年	77	87	77	87	77	87	77	87	77	87	77	87	77	87	77	87	男	870	77	增
昭和八年	77	87	77	87	77	87	77	87	77	87	77	87	77	87	77	87	女	870	77	增

本校就學狀況

昭和八年
（昭和八年）
（昭和八年）

四 本校見學上人格別

計	補		本		本		本		本		學 年	性 別	女 男 口	力 十 九	邦 人 上 混 血	計
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十						
88	1	1	2	3	3	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1
88	1	1	2	3	3	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1
45	3	6	9	8	0	5	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0
96	1	1	0	1	3	1	1	5	2	0	0	0	0	0	0	0
48	2	1	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
60	5	9	8	7	0	7	4	4	6	0	0	0	0	0	0	0

マイクロ写真撮影訂正票

訂正の理由	撮影操作誤りの為
訂正結果	直前の 2 コマ取消 2 コマ再撮影
訂正年月日	平成 17 年 11 月 9 日
このフィルムは上記の理由で取消、又は再撮影し訂正しました。	
撮影責任者	富士写真フイルム株式会社 桃園 芳朗

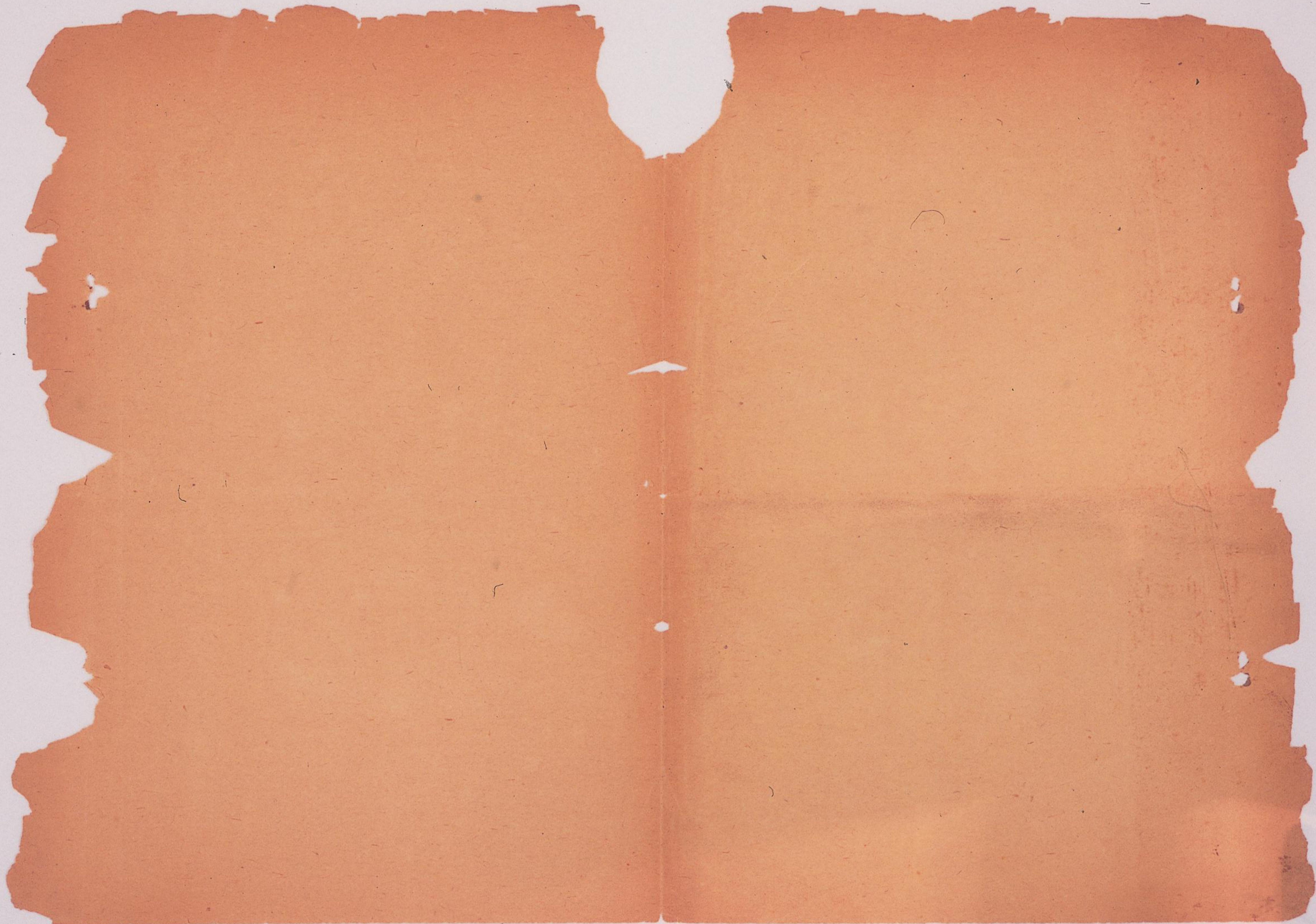
説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。



説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。



説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

- 目次
- 一、本校沿革大要
 - イ、創立當時事情
 - ロ、開校以後、設置及開校年月日、名称、変更
 - ハ、本校、位置及通学児童数
 - ニ、本校、位置及通学区域
 - イ、本校、界隈
 - 三、本校教育方針、施設大要
 - イ、本校教育方針
 - ロ、本校施設大要
 - ハ、德育的方面
 - ニ、智育的方面
 - ホ、体育的方面
 - ヘ、社会的方面
 - 四、本校児童と人種別及本校就学状況

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

一、本校沿革、大要

創立當時ノ事情
占領直後ノ事情ハ詳ダナイケレドモ大正三年十二月開校ノ予定ニ付長助役ニ命ジテ独乙時代ノ生徒ヲ集メクノ事ヲ命ジテ。然レ同年十二月十二日開校ニ先ツテ大暴風雨ニ襲ハレ独乙時代ノ校舍ハ半壊シテ止ラ得ズ翌大正四年一月十日開校式ヲ行フ。十三日カラ授業ヲ開始シテ校舍ハ當時ノカトリック教会ノ宣教師ノ宿舎(現在カトリック教会ヲ代用ニシテ授業マシタ)

其後大正五年九月二日現地整理ニ着手同年十一月三日新校舍カ落成シ今年十二月二日新校舍ニ移轉シテ開校當時ノ教師ハキヤモロ語ヲ解ル南洋貿易會社サイバン支店員 菊地大助氏ヲ依頼シ外ニホセイサフラン(ドイツ時代ノ助教員)及 アントニスオサラン(西班牙時代ノ島カラ聘セラレテ助教員トナリ独乙時代ニ暫ク助教員ヲシテトカガレ)ト云ノ島民ヲ助手トシテ教授シテ然レ此ノ三名ノ内音楽ヲヨクスルモノガ無シタガ軍政廳カラ坂本少尉ヲ依頼シテ唱歌教授マシテ生

徒ハ約百名デキヤモロ族ノ子弟ヲケテ 教育シテガ後第一回校長大田周作氏就任ニ及デカナク族ヲ七件セ入世サセテ教授シ

當時ノ教科ハ修身 國語 算術 唱歌 体操ノ五科目デキ其ノ教授ニ際シテハ教師ガ先ツキヤモロ語ヲ學ビ之ニツテ翻譯教授マシル等ヨホト苦心シテマシタ

ロ

學校ノ設置及開校年月日 名称ノ変更

大正四年一月十日	独乙官立小學校 跡ニ於テ開校
大正四年十一月二十七日	サイバン小學校
大正四年 四月	補習科 設置
大正七年九月一日	サイバン島民學校ト改稱
大正八年七月一日	南洋群島第一尋常小學校併置
大正十一年四月一日	サイバン公學校ト改稱
昭和六年四月	本科一學級増加
昭和七年四月	本科一學級増加

(昭和八年ニ至ハ學級増加シ行クニ至ルモ前記ノ如クニシテ滿ク)

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

八開校以来ノ卒業見込（昭和八年四月現在）

性別	科別	
	本科	補習科
男	四九二	三三二
女	三八〇	二〇五
計	八七二	五三六

ニ本校卒業生ノ状況

ノ本工徒學學校卒業者

ホアキンチマラクラフ

ホセーデアス

アントニオデレオンデレロ

内地留學者

ペドロアダ

ホセーパンヘリヤン

ホアキンゴンヘリヤン

ヘススアウグ

ガロデウスレリス

ビセンテデカストロ

フリツリマ

ペドロセペーラ

フレデリックデラリス

上智大学 二年修了

上智大学 二年修了

上智大学 二年修了

成城中学校 一年修了

雑貨商在学中

農業

助教員

8

7

カリストライノリス
ビセンテ アダ
マヌエル アルバ
キセルモ デロレリス
ペドロテレオンデレロ

毛馬小学校卒業
高輪中學校三年修了
東京神學校三年修了
東京神學校在学中

農業
死
本塾園長

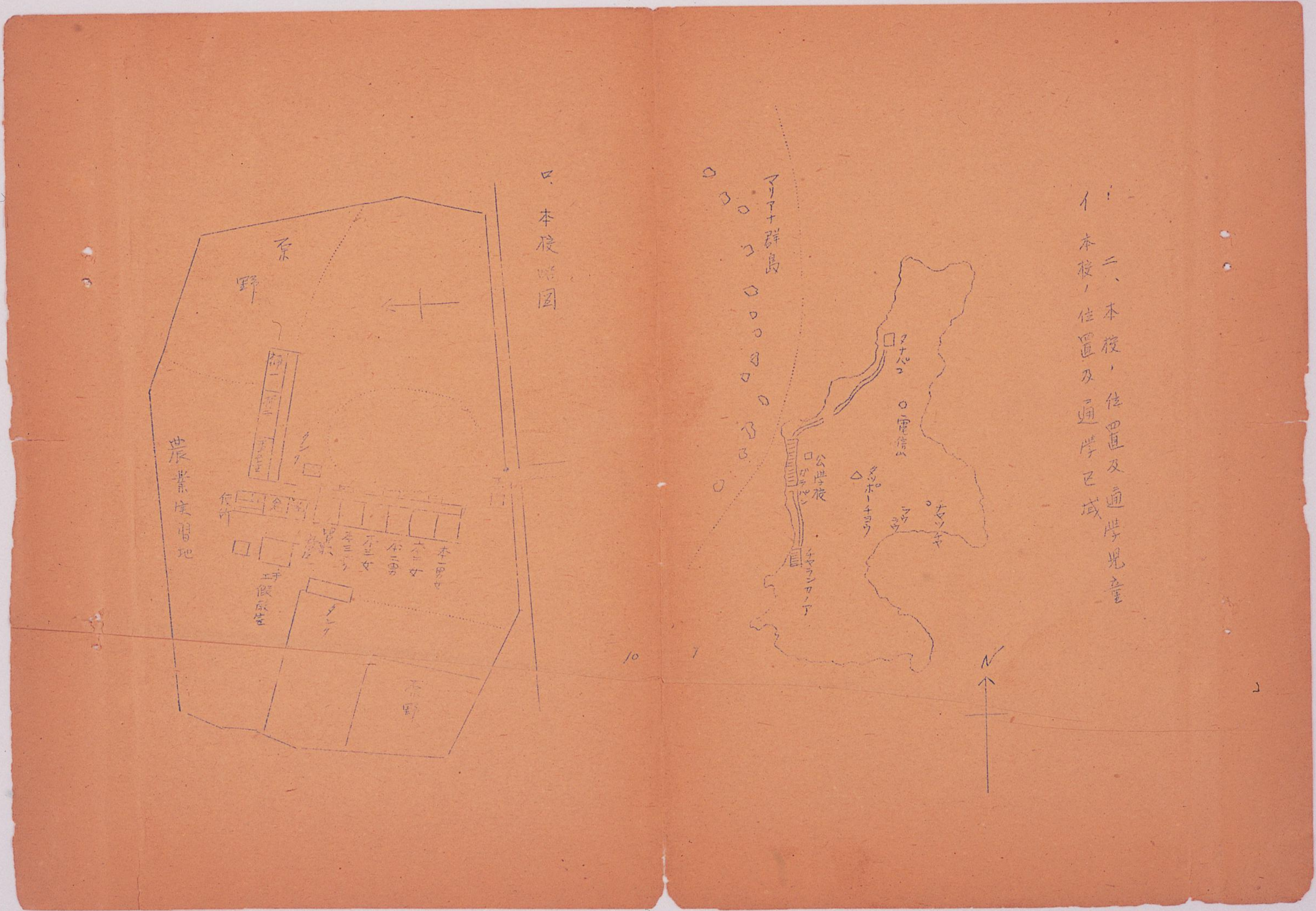
3 農事講習所入所者 (二〇名)

4 支店其他ノ給仕ニ就職シテ居ルモノ

5 家業ニ従事スルモノ

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。



説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

三、本校教育方針ト施設ノ大要

イ、本校教育方針

公学校デハ児童身伴ノ発達ニ留意シテ德育ヲ施シ
生徒ノ向上改善ニ必要ト普通ノ知識技能ヲ授ケル
アルガ島民児童ノ現状カラ考察シ「国語ノ普及」ト「迷
信打破」トハ特ニ力ヲ用ヒナラナイニ大眼目デアル
何トナレバ島民毎ニ言語ヲ異ニシイルト云ハル南洋群島デ
ハ島語デ教授スルコトハ困難ヲモアリ且ツ無意味ナル、島
語ノ教授ニ体ヲ彼等ノ生活ノ向上セシムルコトハ殆
ト望ムレナイ
故ニ国語ノ普及カ急務デアル
猶島民ノ文化ノ程度カ低イハテ不可解ト事像ハコト
ゴトク神ヲ仰キ魔神トシテ恐レル 吉凶禍福疾病等
ニ対シテ迷信ヲソノアラフ天運天壽ヲ保ケ得ナイコトカ狂
ナル誠ニ憐シムキ民族ナル故ニ迷信ヲ打破キ心眼ヲ啓イテ
ヤラナレハナラナイ。

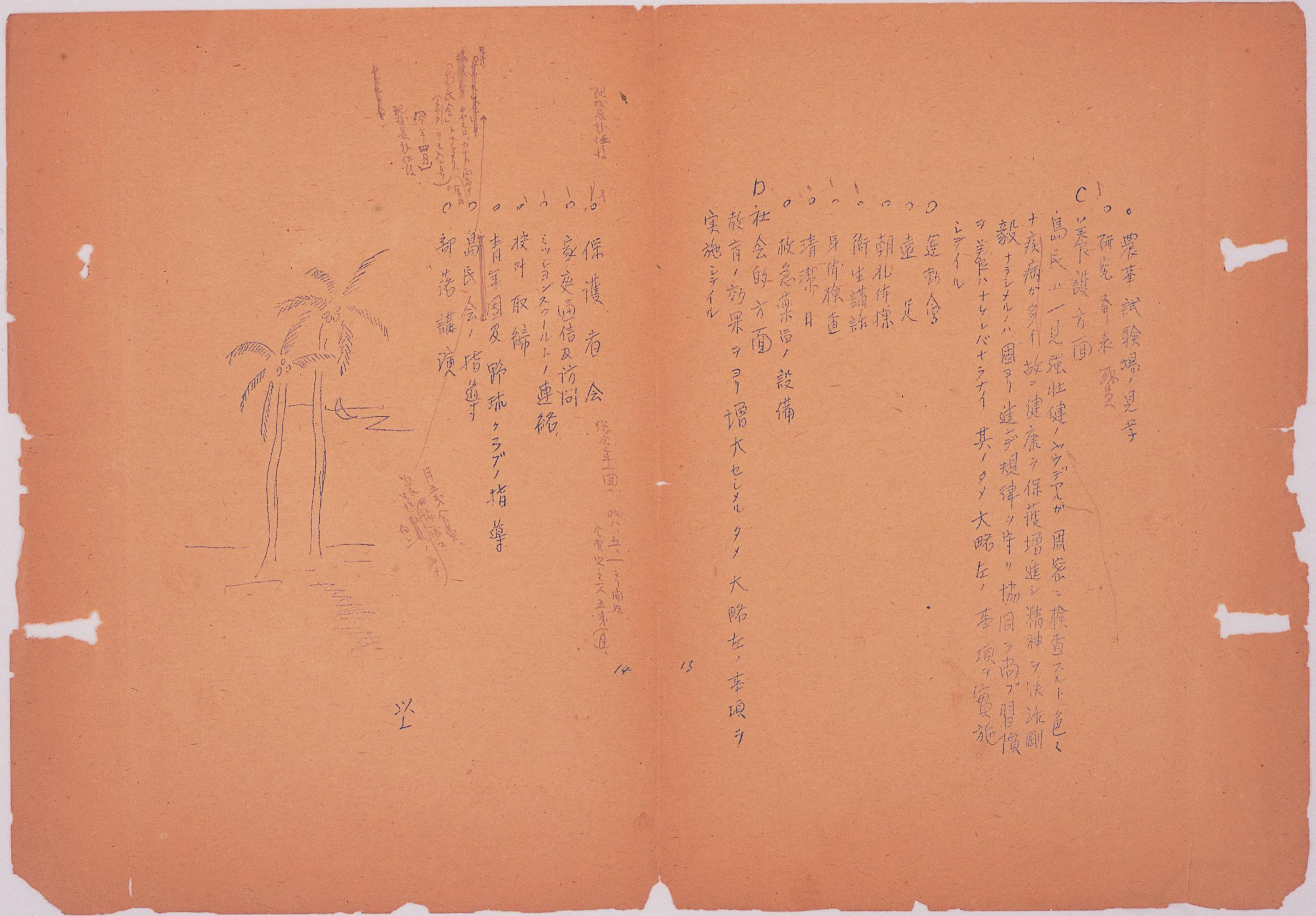
ロ、本校施設ノ大要
ニ、德育的方面

児童ノ徳性ヲ涵養シ彼等ニ徳性ノ実践ヲ指導スル
ノニ全カク徹底シテ其ノ中ニ十事項ヲ掲ケル
○ 社会奉仕事業
○ 共同作業
○ 勤労週間
○ 生物愛護
○ 一分回黙(想)
○ 善行児童ノ表彰
○ 當番制度
○ 知識技能的方面
劃一的ニ教授ハ児童ノ喜スルヲ以テ故ニ郷土ノ情況ヲ
考慮シテ世帯ノ生活ニ応ジテ十事項ヲ掲ケ目ツツカ
ニ適用カ自在ナラシムルコト今度施設事項ノ大要ヲ
述ベル

註
○ 児童文藝展覧會
○ 児童文藝會
○ 児童文藝會
○ 児童文藝會
○ 児童文藝會
○ 児童文藝會
○ 児童文藝會
○ 児童文藝會
○ 児童文藝會
○ 児童文藝會

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

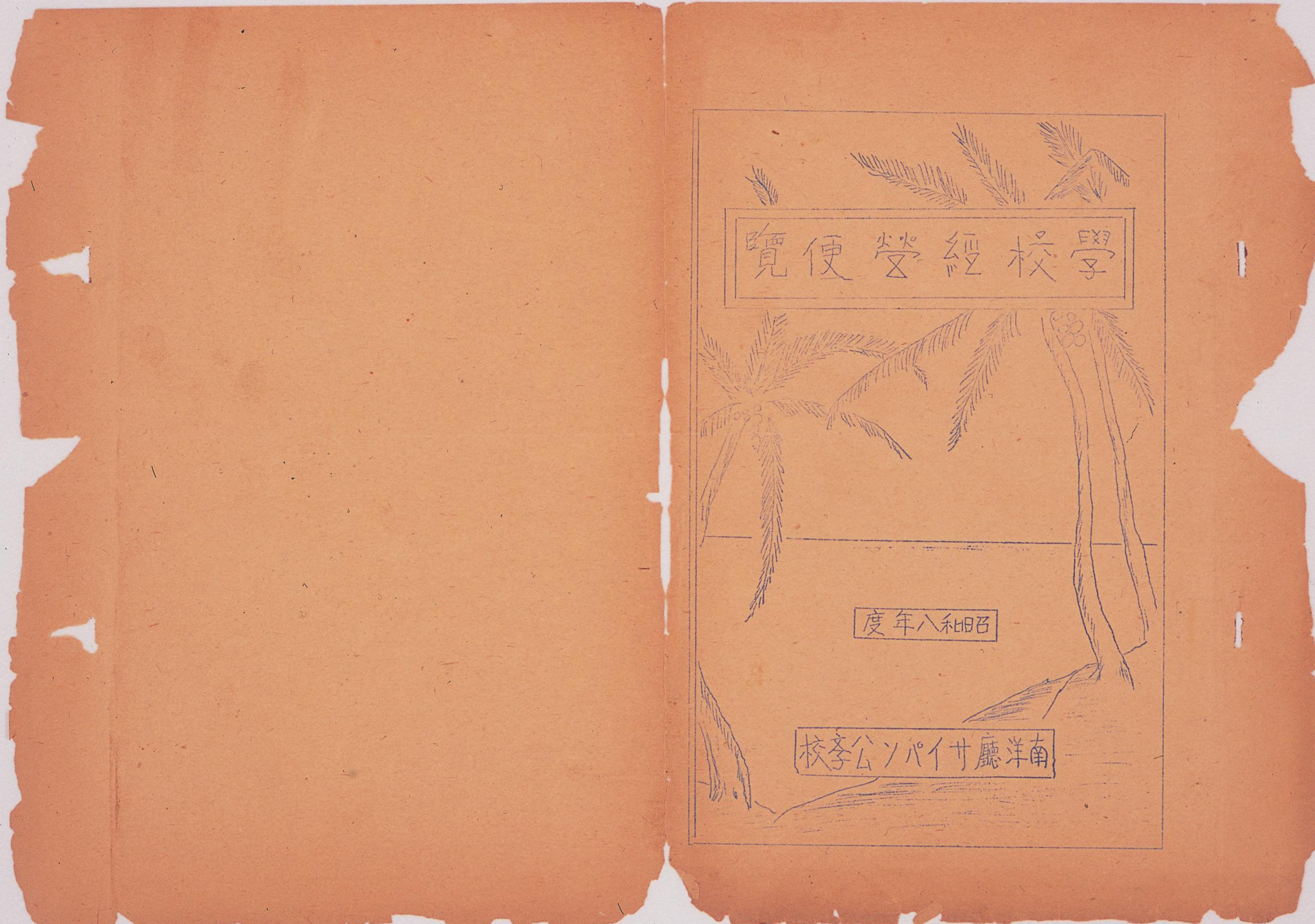


マイクロ写真撮影訂正票

訂正の理由	撮影操作誤りの為
訂正結果	直前の 10 コマ取消 10 コマ再撮影
訂正年月日	平成 17 年 11 月 9 日
このフィルムは上記の理由で取消、又は再撮影し訂正しました。	
撮影責任者	富士写真フイルム株式会社 桃園 芳朗

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。



寛便堂經校字

度年八和昭

校李公ソパイサ廳洋南



説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

本校就学状況

昭和二十一年
昭和二十二年
昭和二十三年
昭和二十四年
昭和二十五年
昭和二十六年
昭和二十七年
昭和二十八年
昭和二十九年
昭和三十年

年度	昭和二十一年		昭和二十二年		昭和二十三年		昭和二十四年		昭和二十五年		昭和二十六年		昭和二十七年		昭和二十八年		昭和二十九年		昭和三十年		
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
就学歩合	56.0	59.5	61.0	64.0	64.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0
在学児童数	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137
前年度と比較	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増	増

本校就学状況

昭和二十一年
昭和二十二年
昭和二十三年
昭和二十四年
昭和二十五年
昭和二十六年
昭和二十七年
昭和二十八年
昭和二十九年
昭和三十年

本校児童千人種別

学年	昭和二十一年		昭和二十二年		昭和二十三年		昭和二十四年		昭和二十五年		昭和二十六年		昭和二十七年		昭和二十八年		昭和二十九年		昭和三十年	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	88	80	88	80	88	80	88	80	88	80	88	80	88	80	88	80	88	80	88	80
補	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
本	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
本	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
本	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
本	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14	15	14

本校児童千人種別

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

朝禮唱歌

三拍子 サイパン公学校

コ コ ヲ ス ガ レ ヲ ア ヲ ツ ト
イ サ イ ハ マ マ キ ヲ フ ト
ウ デ カ ニ カ ガ ヤ ク ア サ ノ ツ ビ
ミ オ シ エ シ ウ ト キ マ ナ ヲ ノ ニ ワ
ノ シ ク サ レ シ ク サ アー ル ヲ
モ ド ヲ ツ ト ノ ヲ レ ラ ノー マ ナ
ウ シ ヲ オ シ ク サ アー ル ヲ
ウ シ ヲ オ シ ク サ アー ル ヲ

官
訓導長
訓導
訓導
訓導
訓導
訓導
訓導
訓導
訓導
訓導

名
長
光
光
光
光
光
光
光
光
光

出身地
徳島縣
徳島縣
徳島縣
徳島縣
徳島縣
徳島縣
徳島縣
徳島縣
徳島縣
徳島縣

本校着任年
昭和八
昭和七
昭和七
昭和七
昭和七
昭和七
昭和七
昭和七
昭和七
昭和七

サイパン公学校職員

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

- 目次
- 一 本校沿革大要
 - イ 創立當時事情
 - ロ 學校設置及開校年月日 名稱變更
 - ハ 開校以來卒業児童數
 - ニ 本校位置及通學児童
 - イ 本校位置及通學區域
 - ロ 本校界圍
 - 三 本校教育方針施設大要
 - イ 本校教育方針
 - ロ 本校施設大要
 - ① 德育的方面
 - ② 智育的方面
 - ③ 養護方面
 - ④ 社会兩方面
 - 四 本校児童ト人種別及本校就學状況

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

1. 本校沿革の概要

創立當時ノ事情ハ詳シクナイケレドモ大正三年十二月開校ノ予定で村長助役ニ命ジテ独乙時代ノ生徒ヲ集メタルノ事實デアリ。然レ同年十二月十二日開校ニ先ツテ大暴風雨ニ襲ハレ独乙時代ノ校舎ハ半壊シタルヲ以テ得ズ翌大正四年一月十日開校式ヲアゲ十三日カラ授業ヲ開始シテ校舎ハ當時カトリック教会ノ宣教師ノ宿舎(現在カトリック教会ヲ代用ニシテ授業ヲシテ)

其後大正五年九月二日現地整理ニ着手同年十一月三日新校舎カ落成シ今年十二月二日新校舎ニ移轉シテ開校當時ノ教師ハキヤモロ語ヲ解ス南洋貿易会社サイバン支店員菊地大助氏ヲ依頼シ外ニホセイサフラン(ドイツ時代ノ助教員)及アントニスサフラン(高坂牙時代ガム島カラ聘セラレテ助教員トナリ独乙時代モ暫ク助教員ヲシテトガアル)ノ二名ノ島民ヲ助手トシテ教授シ然レ此ノ二名ノ内音楽ヲヨクスルモノが無クシテ少軍政廳カラ及本少尉ヲ依頼シテ唱歌教授ヲシテ生

徒ハ約百名デキヤモロ族ノ子弟ゾケテ教育シテカ後修身一
回校長大田周作氏就任ニ及シテカナク族ヲモ併セ入學サセテ
教授シテ

當時ノ教科ハ修身 國語 算術 唱歌 体操ノ五科目目デ
其ノ教授ニ際シテハ教師ガ先ツキヤモロ語ヲ學ビ之ニツツテ
翻譯教授ヲスル等ヨホト苦心ヲシテシテデアリ

ロ

學校ノ設置及開校年月日 名称ノ変更

大正四年一月十日 独乙官立小學校 跡ニ於テ開校

大正四年十二月十七日 サイバン小學校

大正四年 四月 補習科併置

大正七年九月二日 サイバン島民學校ト改稱

大正八年七月一日 南洋群島第一尋常小學校併置

大正十一年四月一日 サイバン公學校ト改稱

昭和六年四月 本科一學級増加

昭和七年四月 本科一學級増加

(昭和八年ニ至ハ學級増加シテ行ノ学を以テ前五年ニ比シテ二倍高クナリ)

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

ハ開校以来卒業見込（昭和八年四月現在）

性別	科別		補習科
	本	科	
男	四	九	三三
女	三	八	二〇
計	八	一七	五三

ニ本校卒業生ノ状況

ノ不工徒身厚校卒業者

ホアキンチヤラダラフ

ホセーデアス

アントニアデレオンゲト

内地留学者

ペドロアダ

ホセーバンヘリヤン

ホアキンバンリヤン

ヘスニアリツク

ガロデラスレラス

ビセンテデカストロ

フリックスマ

ペドロセペーラ

フレデリックデラガス

フリックスマ

ペドロセペーラ

フレデリックデラガス

雑貨商（在ダカ）

農業

助教員

成城中学校一年修了

上智大学二年修了

上智大学二年修了

成城中学校一年修了

3 農事講習所入所者（一〇名）

4 支店其他ノ給仕ニ就職シテ居ルモノ

5 農事ニ従事スルモノ

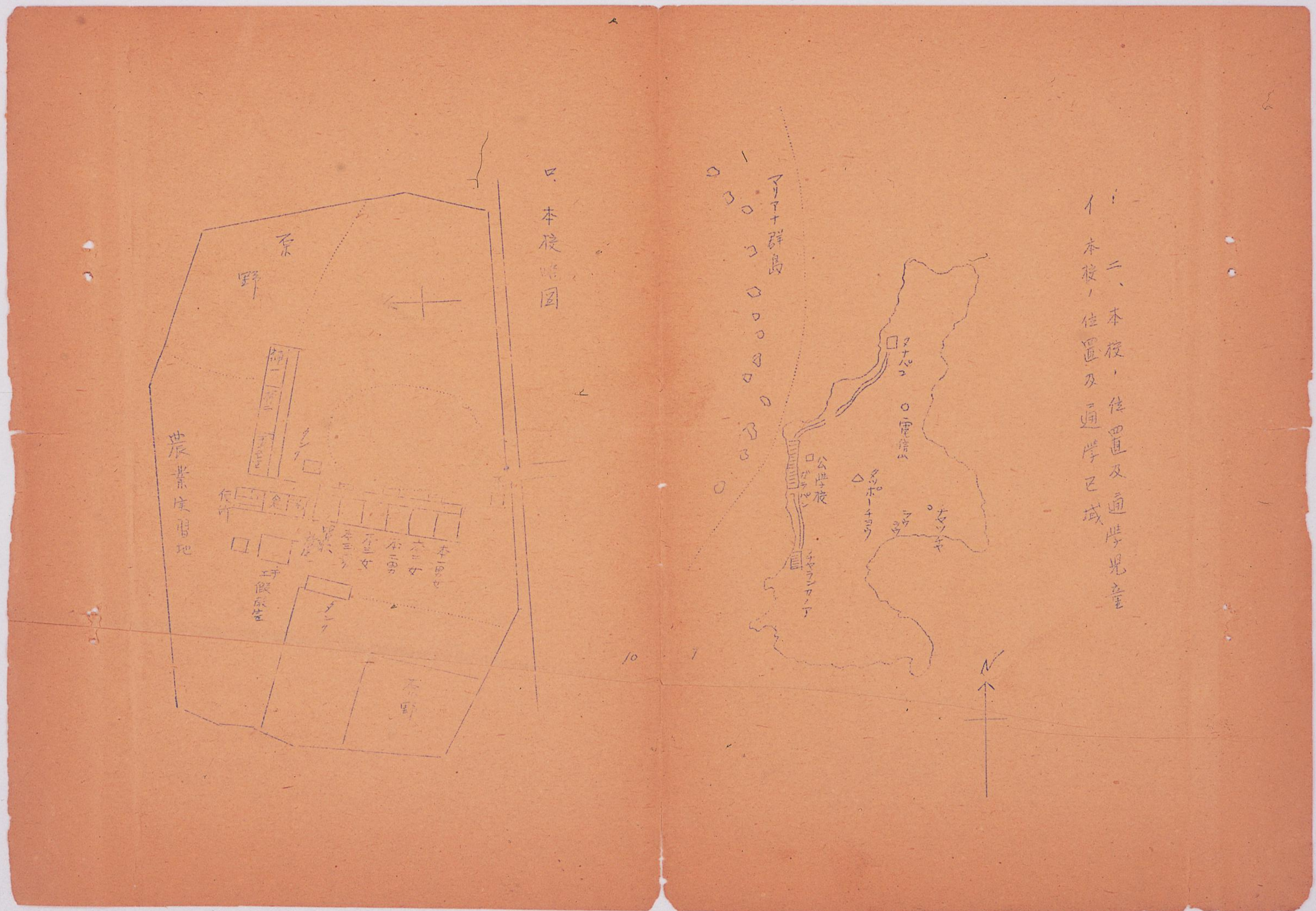
カリストテノリス
ビセンテ アダ
マヌエル アルバ
キセルモ デロレス
ペドロテレオニゲロ

年寄西小学校卒業
高輪中学校三年修了
東京神学校四年修了
東京神学校在学中

農業
死
私塾助教

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。



説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

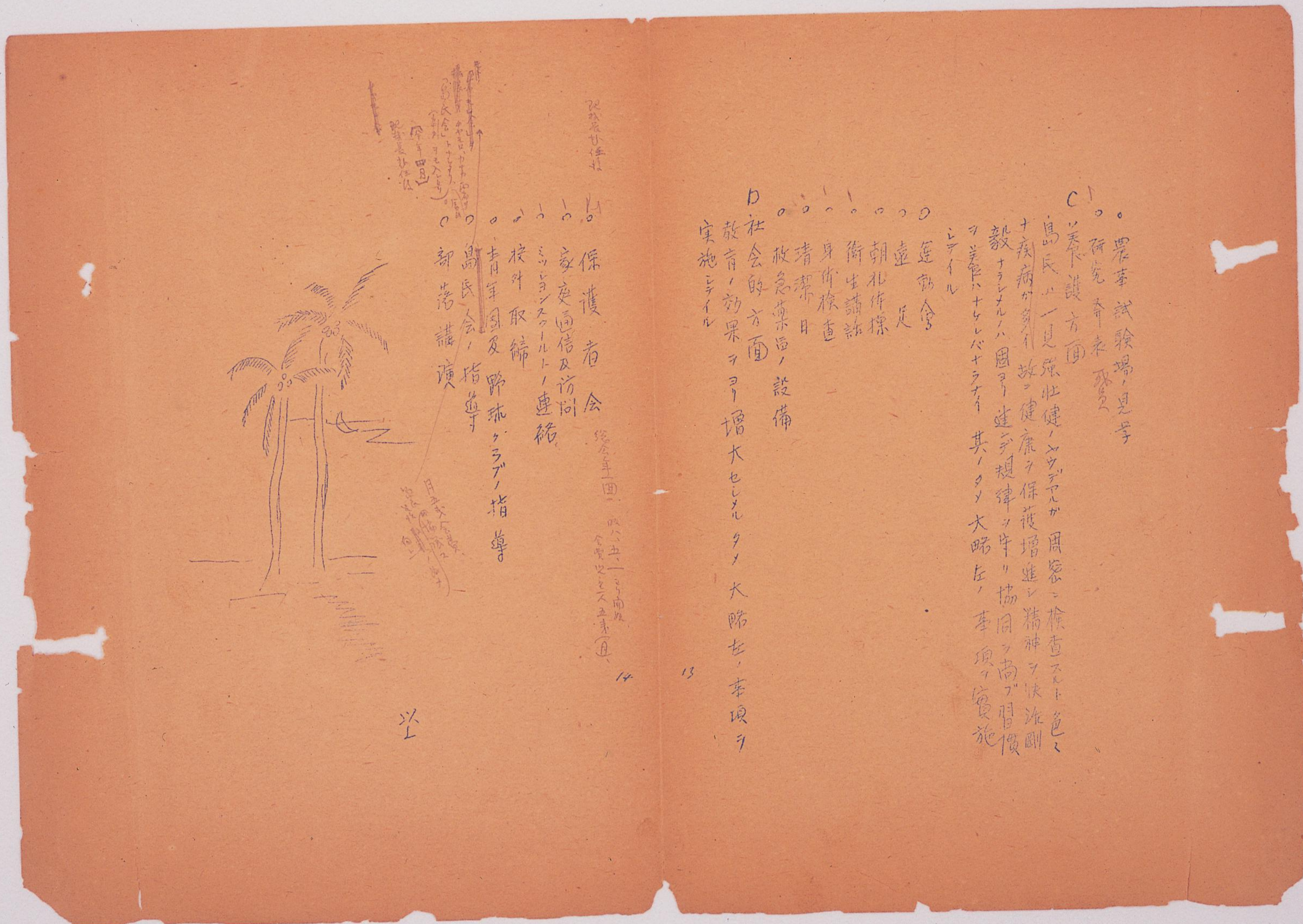
三、本校教育方針ト施設ノ大要
 一、本校教育方針
 公学校ニハ児童身作ノ発達ニ留意シテ德育ヲ施シ
 生活ノ向上改善ニ必要ト普通ノ知識技能ヲ授ケルニテ
 アルガ島民児童ノ現状カラ考察シテ「国語ノ普及」ト「道
 徳」ト「信」トハ特別ニ力ヲ用ヒナラナイニ大眼目ナル
 何トレベシ島民ノ言語ニ異ニシテイルト云ハル南洋群島ニ
 ハ島語ニ散在スルコトハ困難ヲモアリ且ツ無意味ナル、島
 語ノ教授ニ体ツテ彼等ノ生活ノ向上セシムルコトハ殆ド望
 ムレナイ
 故ニ国語ノ普及カ急務ナル
 猶島民ノ文化ノ程度カ低イハテ不可解ノ事像ハコト
 フトク神ヲ仰キ魔ヲ忌ムルニシテイル 吉凶禍福疾病等
 ニ對シテ迷信ヲメテアラ天運天壽ヲ信ナリコトカ輕ニ
 アル誠ニ信シムキ民族ナル故ニ迷信ヲ打破シ心眼ヲ啓イテ
 ヤラナケレハナラナイ。

二、本校施設ノ大要
 a 德育的方面
 児童ノ徳性ヲ涵養シ彼等ノ道徳ノ実践ヲ指導スルヲ
 ノニシテ力ヲ傾キタルガ其ノ中ニテ事項ヲ掲ケルト
 〇 社会奉仕事業
 〇 共同作業
 〇 勤労週間
 〇 生物愛護
 〇 一分回然(想)
 〇 善行児童ノ表彰
 〇 賞罰制度
 〇 知識技能的方面
 劃一的ノ教授ハ児童ノ善スルヲアルニ依リテ郷土ノ情況ヲ
 考慮シテ行ハルニシテ必要ト事項ヲ掲ケルニシテ
 〇 道徳ノ活用カ自在ナルニシテ今度施設事項ノ大略ヲ
 述ベル
 〇 誼話會
 〇 學藝會
 〇 展覽會
 〇 児童文藝會
 〇 理科園、経営

北極
 自給自足
 生活
 向上
 改善
 必要
 知識
 技能
 授け
 る
 こと
 島民
 児童
 現状
 考察
 国語
 普及
 道徳
 信
 特別
 力
 用
 大眼
 目
 南洋
 群島
 島語
 散在
 困難
 無意味
 島
 語
 教授
 体
 生活
 向上
 せし
 む
 る
 殆ど
 望
 む
 れ
 ない
 故に
 国語
 の
 普及
 が
 急務
 南洋
 群島
 の
 文化
 の
 程度
 が
 低い
 不可
 解
 の
 事
 像
 は
 こと
 ごと
 き
 神
 を
 仰
 ぎ
 魔
 を
 忌
 む
 る
 こと
 が
 多い
 吉凶
 禍
 福
 疾病
 等
 に
 対
 して
 迷信
 が
 盛
 ん
 天運
 天壽
 を
 信
 じて
 いる
 こと
 が
 輕
 易
 に
 行
 わ
 れ
 る
 誠
 に
 信
 じて
 いる
 民族
 である
 故
 に
 迷信
 を
 打
 破
 し
 心
 眼
 を
 啓
 いて
 や
 ら
 な
 け
 れ
 ば
 な
 ら
 ない

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。



保護者会
家変通信及訪問
ミレオンカールトノ連絡
校外取締
青年団及 野球クラブノ指導
島民会ノ指導
新築講演

以上

農事試験場ノ見学
研究 奇案 取組
C 保護方面
島民ハ一見強壯健ノムシデアガ 周密ニ検査スルト色々
ノ疾病カ多ク 故ニ健康ヲ保護増進シ 精神ヲ快活剛
毅ナラシムルハ 固ヨリ 建テ 規律ヲ守リ 協同ヲ高メ 習慣
ヲ美観ハナシレバナラナイ 其ノタメ 大略左ノ 事項ヲ 留意施
スベシ
○ 運動會
○ 壺 足
○ 朝礼作探
○ 衛生講話
○ 身所検査
○ 清掃日
○ 救急薬箱ノ 設備
D 社会的方面
教育ノ 効果ヲヨリ 増大セシムル タメ 大略左ノ 事項ヲ
実施スベシ

13

14

説明
ターゲット

この原本
は、破損の
まま撮影し
ます。

